アフリカ州

名前

問1　低緯度帯に位置し、コーヒー豆などの特定の農産物を主な輸出品目としている国々において、経済の安定を妨げる要因となっている背景について、正しく説明しているものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）

1. 国内での消費が輸出量を上回っており、外貨を獲得する手段が失われていること
2. 先進国からの輸入を制限しているため、国内での製品加工が技術的に困難になっていること
3. 天候不順による不作や、国際的な市場価格の暴落によって、国の収入が大きく変動しやすいこと
4. 特定の資源の輸出額が常に一定であるため、新しい産業が育たず、労働力が不足していること

問2　世界地図において、アフリカ大陸の北側に広範囲にわたって分布するサハラ砂漠周辺の気候的特徴について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 降水量が極めて少なく、蒸発量が降水量を上回るため、乾燥帯に分類される。
2. 高緯度の大陸東岸に位置するため、冬の寒さが厳しく針葉樹林が広がる。
3. 季節風（モンスーン）の影響を強く受け、夏に集中的な降水が見られる。
4. 赤道に近い低緯度地域であるため、一年を通じて高温多湿な熱帯雨林が広がる。

問3　アフリカ大陸の北部に位置する、世界最大の面積を持つ砂漠の名称と、その地域においてアラブ文化の影響を強く受けて広く信仰されている宗教の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2017年 京都府公立入試 類似）

1. カラハリ砂漠と仏教
2. カラハリ砂漠とイスラム教
3. サハラ砂漠とイスラム教
4. サハラ砂漠とキリスト教

問4　コートジボワールの輸出統計において、カカオ豆が輸出額全体の約28%と最も大きな割合を占めているような経済構造について、その名称と課題を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 特定の農産物の輸出に依存するモノカルチャー経済であり、天候や国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。
2. 希少な鉱産資源の輸出のみに依存する資源依存型経済であり、資源が枯渇すると将来的に経済が立ち行かなくなる。
3. 国内の消費を自国の生産でまかなう自給自足経済であり、国際社会の経済変動による影響をほとんど受けない。
4. 工業製品の輸出を主とする加工貿易であり、輸入する原材料の価格高騰によって製品の国際競争力が低下しやすい。

問5　アフリカ大陸の地図を見ると、サハラ砂漠周辺の国々をはじめとして、国境線が緯線や経線に沿った直線状になっている場所が多く見られます。このような国境線が引かれた歴史的背景と特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. アフリカの諸国家が独立する際に、民族間の争いを避けるため、あえて居住地域を分断するように山脈や河川に沿って引き直された。
2. 大規模な灌漑農業を行うにあたり、農地の区画整理を効率的に進める目的で、独立後の政府が緯線に基づいた国境を新設した。
3. 砂漠地帯では伝統的に放牧が行われていたため、家畜の移動ルートを確保しやすいよう、現地の部族同士の合意で直線が採用された。
4. かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布や地形を無視して、列強の都合で人為的に境界が定められた。

問6　日本が主催するTICAD（アフリカ開発会議）を通じた近年の日本とアフリカの関係について、アフリカの人口が急増し日本の人口が減少しているという人口動態の変化や、2015年から2021年にかけて現地における日本企業の拠点数が増加傾向にあるという状況を踏まえた説明として、最も適切なものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 日本企業の拠点数が減少傾向にあることを背景に、民間企業の撤退を促し、政府による開発援助のみに限定した関係を構築しようとしている。
2. アフリカの人口急増による食糧不足を懸念し、日本政府が主導権を握って現地の農業を完全に管理下に置く政策を強化している。
3. 日本国内の市場縮小を補うため、現地の自助努力を考慮せず、日本の公的資金のみを投入してインフラを独占する方針をとっている。
4. アフリカの将来的な市場拡大を見据え、政府による一方的な援助から、民間企業の参画を促す対等なビジネスパートナーシップへと転換を図っている。

問7　アフリカ大陸の気候帯の分布には、大陸の中央付近を通るある緯線を中心として、南北にほぼ対称に広がるという特徴があります。この緯線の名称と、その周辺に広がる気候帯の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 本初子午線 ― 一年中寒さが厳しい寒帯
2. 赤道 ― 一年中気温が高く雨が多い熱帯
3. 南回帰線 ― 常に乾燥している乾燥帯
4. 北回帰線 ― 四季の変化がはっきりした温帯

問8　ナイジェリアの輸出総額のうち、第1位の原油が約82.3%、第2位の液化天然ガスが約9.9%を占めているように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に過度に依存する経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。このような経済体制が抱える課題として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 資源の枯渇を防ぐために、政府が輸出量を厳しく制限しなければならないこと
2. 特定の産品の国際価格が下落すると、国家の財政が不安定になりやすいこと
3. 国内の食料自給率が高まり、工業製品の輸入が必要なくなること
4. 先進国からの経済援助を受けるための条件が厳しくなること

問9　アフリカ大陸北東部のエジプト周辺の地図を確認すると、西部のリビアとの境界や南部のスーダンとの境界が、複雑な地形を無視した真っすぐな線で描かれています。このような国境線の特徴を説明した用語として、適切なものはどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. 高い山脈の尾根をつないで設定された、自然国境
2. 大きな河川の中央を境界とした、地形的な国境
3. 経線や緯度を利用した、人為的・数理的な国境
4. 海岸線の形に合わせて引かれた、入り組んだ国境

問10　ナイジェリアの経済において、輸出総額の推移と国際的な原油価格の動きを比較すると、原油価格の上下に連動して輸出総額が増減する傾向が見られます。このような経済構造が抱える課題として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）

1. 石油製品の加工技術が高度化したことで、原油価格の変動に左右されない安定した経済成長を実現している。
2. 輸出品目が多角化されているため、一部の産品の価格が下がっても他の輸出で補うことができる。
3. 国際価格の変動が国の経済全体に直接影響するため、財政や景気が不安定になりやすい。
4. 国内の工業化が進んでいるため、原油価格が下落しても輸出総額への影響はほとんどない。

問11　サハラ砂漠以南のアフリカ諸国で進められた、米の増産を目的とする「アフリカ稲作振興のための共同体（ＣＡＲＤ）」の取り組みとその成果について、正しい説明はどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）

1. 栽培面積の拡大や生産性の向上により、当初掲げていた増産目標を予定より前倒しで達成した。
2. 米の生産量は増大したが、主食が小麦やトウモロコシから変化しなかったため、計画は途中で打ち切られた。
3. 技術的な指導が困難を極めたため、目標としていた生産量の達成は当初の予定より大幅に遅れた。
4. 単位面積あたりの収穫量は向上したが、砂漠化の影響で栽培面積が減少したため、総生産量は伸び悩んだ。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 天候不順による不作や、国際的な市場価格の暴落によって、国の収入が大きく変動しやすいこと	モノカルチャー経済は、特定の品目への経済的依存度が高いため、その作物の作柄や、ニューヨークやロンドンなどの国際市場での取引価格の変化が、国家財政に直結します。一国の努力ではコントロールできない外部要因によって、経済が不安定になりやすいというリスクを抱えています。
問2	答え 1 降水量が極めて少なく、蒸発量が降水量を上回るため、乾燥帯に分類される。	サハラ砂漠が位置するアフリカ大陸北端から北回帰線付近にかけての地域は、一年中乾燥した空気が降りてくる亜熱帯高圧帯の影響を強く受けます。そのため、年間降水量が極端に少なく、樹木の生育が困難な乾燥帯（砂漠気候）となっています。
問3	答え 3 サハラ砂漠とイスラム教	アフリカ大陸の北半分を占めるサハラ砂漠は、世界最大の乾燥地帯です。この地域は地理的に北アフリカと呼ばれ、古くから地中海を介して中東のアラブ諸国との交流が活発でした。その歴史的背景から、言語や生活習慣においてアラブ文化が浸透しており、宗教面ではイスラム教が支配的な文化圏を形成しています。
問4	答え 1 特定の農産物の輸出に依存するモノカルチャー経済であり、天候や国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。	アフリカ諸国に多く見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済をモノカルチャー経済と呼びます。コートジボワールではカカオ豆への依存度が高いため、生産量が天候に左右されたり、世界市場での取引価格が下落したりすると、国家の収入が不安定になるというリスクを抱えています。これに対し、先進工業国のように製品を輸出する構造や、国内ですべてを補う自給自足経済は、現在のコートジボワールの統計的特徴とは異なります。
問5	答え 4 かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布や地形を無視して、列強の都合で人為的に境界が定められた。	19世紀後半から20世紀にかけて、ヨーロッパの列強諸国がアフリカを分割・植民地化する際、現地の民族分布や歴史的なつながり、あるいは山脈や河川といった自然の地形をほとんど考慮せずに、地図上で緯線や経線を用いた境界線を引きました。この人為的な国境線は、独立後のアフリカ諸国において、一つの民族が複数の国に分断されたり、異なる民族が同一国内に共存したりすることによる紛争の大きな要因となっています。
問6	答え 4 アフリカの将来的な市場拡大を見据え、政府による一方的な援助から、民間企業の参画を促す対等なビジネスパートナーシップへと転換を図っている。	アフリカは人口の急増により、将来的な「市場」としての重要性が高まっています。これを受け、日本はTICADを通じて、これまでの政府開発援助（ODA）中心の支援から、民間企業の参画による経済活性化へと重点を移しています。その際、アフリカ諸国が自ら発展を目指す「自助努力（オーナーシップ）」を尊重し、対等なパートナーとして共に成長する関係を目指していることが特徴です。
問7	答え 2 赤道 ― 一年中気温が高く雨が多い熱帯	アフリカ大陸の中央部には赤道が通っており、この低緯度地域では太陽の光を強く受けるため一年を通じて気温が高く、上昇気流によって雨が多く降る熱帯の気候が見られます。この赤道付近から南北に離れるにつれて、乾燥帯、温帯へと気候が変化していくのがアフリカ大陸の大きな特徴です。
問8	答え 2 特定の産品の国際価格が下落すると、国家の財政が不安定になりやすいこと	モノカルチャー経済は、特定の品目の国際市場での価格変動や、不作・資源の枯渇などの影響をダイレクトに受けるため、経済の安定性を欠くという弱点があります。ナイジェリアでは、原油価格の暴落が国内経済に深刻な打撃を与えることが大きな課題となっており、産業の多角化が急がれています。
問9	答え 3 経線や緯度を利用した、人為的・数理的な国境	山脈、河川、湖などの自然の地形を利用した国境を「自然国境」と呼ぶのに対し、経緯線などを利用した国境は「数理的国境」と呼ばれます。エジプト周辺のような砂漠地帯では、目印となる自然地形が乏しいこともあり、地図上の数値を基準とした直線的な国境が多く採用されています。これは人間が意図的に引いた「人為的な境界」の代表例です。
問10	答え 3 国際価格の変動が国の経済全体に直接影響するため、財政や景気が不安定になりやすい。	ナイジェリアは輸出総額の約8割を原油および石油製品に依存しているため、世界情勢によって原油の国際価格が変動すると、その影響をまともに受けてしまいます。価格が下落した際には国の収入が大幅に減り、教育やインフラ整備などの国家予算に深刻な影響を及ぼすことが大きな課題となっています。
問11	答え 1 栽培面積の拡大や生産性の向上により、当初掲げていた増産目標を予定より前倒しで達成した。	アフリカの食料安全保障を強化するために進められたこの計画は、国際的な支援と現地での栽培面積の拡大が功を奏し、当初設定していた増産目標を予定よりも早い段階で達成することができました。これはサハラ砂漠以南の地域における農業開発の成功例として知られており、単なる収穫率の改善にとどまらず、耕作地の確保が大きな役割を果たした点が特徴です。